



平成31年度 学校経営方針

丹波市立前山小学校

学校教育目標

ふるさとを愛し、みんなとともに未来を創る 前山っ子の育成
～ きのうよりも 一步のびる ～

- ・憲法や教育関係法規
- ・現在情勢と将来の教育展望
- ・県教委方針
- ・市教委方針

- 学校評価の反映
- ・児童の実態
 - ・教職員の願い
 - ・家庭や地域の願い

めざすこども像 自治自立

- すすんでまなぶ子 (知) めあてを持って学び合い、深められる子
- こころゆたかで、つながる子 (徳) 自分も相手も大切にし、つながる子
- たくましい子 (体) 心も体も健康で、粘り強い子

【知の教育】

- 知識理解の質を高めつつ、基礎基本の定着を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。

【徳の教育】

- 愛され、認められ、感謝される関係性の中で自己有用感を伸長させる。
- ふるさと教育、キャリア教育の充実

【体の教育】

- 健康への関心を高め、体力向上をめざす。
- 安全教育、防災教育の児童への主体的な浸透

実践事項

I 「確かな学力」の定着

- 知識・理解の質を高めつつ、基礎・基本の定着を図る。
 - ・個に応じた指導による個々のつまずきの解消
 - ・自分から弱点を克服できるような家庭学習の工夫
- 「主体的で対話的で深い学び」の実現を図る。
 - ・「教え考えさせること」と「考え深めること」を組み合わせたカリキュラムの構築とカリキュラムマネジメントの実現。
 - ・特別の教科道徳と、外国語・外国語活動やプログラミング学習等に関する授業実践の蓄積。

II 「豊かな心」の育成

- 愛され・認められ・感謝される関係性の中で「自己有用感」を伸長させる。
 - ・「 」に対する「確かな毎日」の取組に、認められ・感謝される集団づくりを行う。
 - ・道徳教育や人権・同和教育を要として、学校生活全体で児童の徳性を認め評価する雰囲気醸成する。
 - ・児童の主体的な活動による「絆づくり」の推進と居場所のあるいじめや不登校のない学校・学級づくり
- 「たんばふるさと学」の推進によるふるさとへの愛着と誇り、自らを活かそうとする態度の醸成。

III 「健やかな体」の育成

- ねらいを明確にし、計画的に行う体育授業や体育的行事の充実と、外遊びや運動遊びの推進
- 健康教育（保健への関心の向上、生活リズムの形成等）や食育等の充実
- 安全教育や防災教育の児童への主体的な浸透による危険回避能力の育成、及び、地域に愛着と誇りの持てる防災教育の推進

IV 信頼される開かれた学校づくり

- 「地域とともにある学校づくり」の推進による活力ある学校づくり（オープンスクールや懇談会、発表会等の活用と、防災教育での連携等）・・・コミュニティスクールの運営

目指す教師像

- 児童や保護者の思いに寄り添い、明るい笑顔と温かいまなざしで、児童を一步向上させる言葉がけや行動に努める。
- 責任を持った職務遂行をする。（危機管理能力の向上 「報・連・相」体制の確立 効率のよい前向きな会話の推進。）
- 学び続ける姿勢を持ち、プロ教師としての専門性を磨く。（プラス思考や新たな発想で教育課題に取り組む。）
- 子どもへの「前向きな期待」を持つ。（子どもは必ず伸びる・よりよく変わると信じる。）
- 共に支え合い高めあえる仲間作りを、学級経営や学校運営の基盤とする。
- 「チーム前山小」の一員として、支え合える同僚になろうとする。
 - ・何をしてもらえるとありがたいのか気兼ねなく言え、「ありがとう」、「お互い様」の言葉が交わし合える。
 - ・勤務時間の適正化に努め、元気な職場づくりに貢献しようとする。